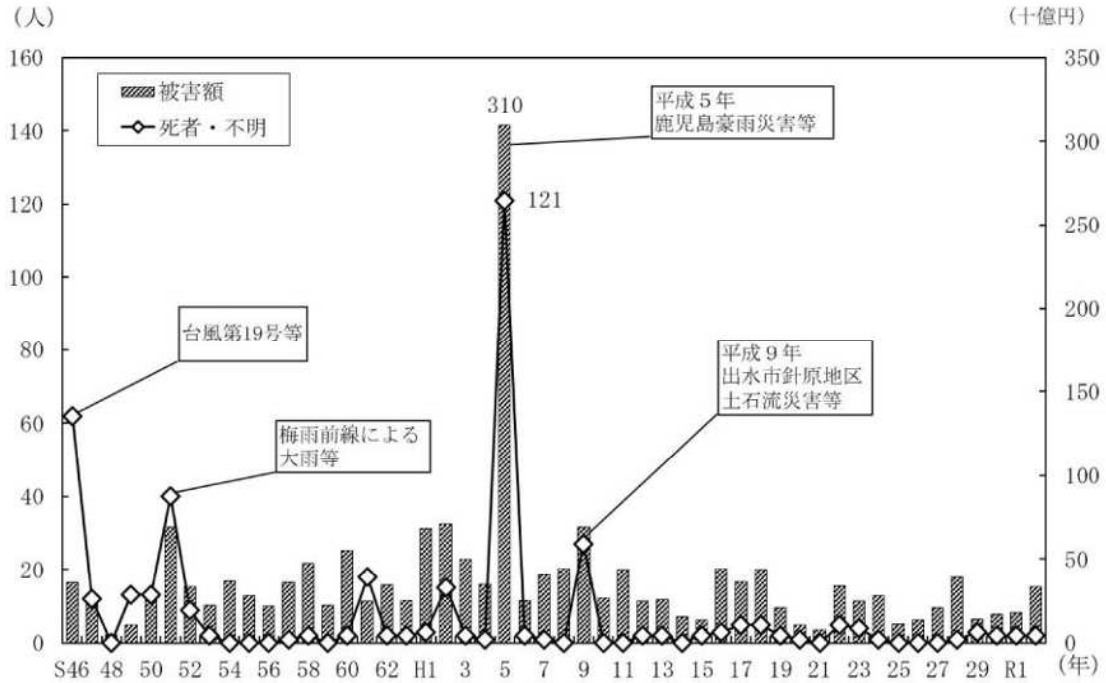


12 安全・安心

(1) 災害の状況

本県は、地理的・自然的条件から台風や集中豪雨等による自然災害の発生が多く、これまで大きな被害を受けており、特に平成5年には鹿児島豪雨災害等により甚大な被害が生じた。

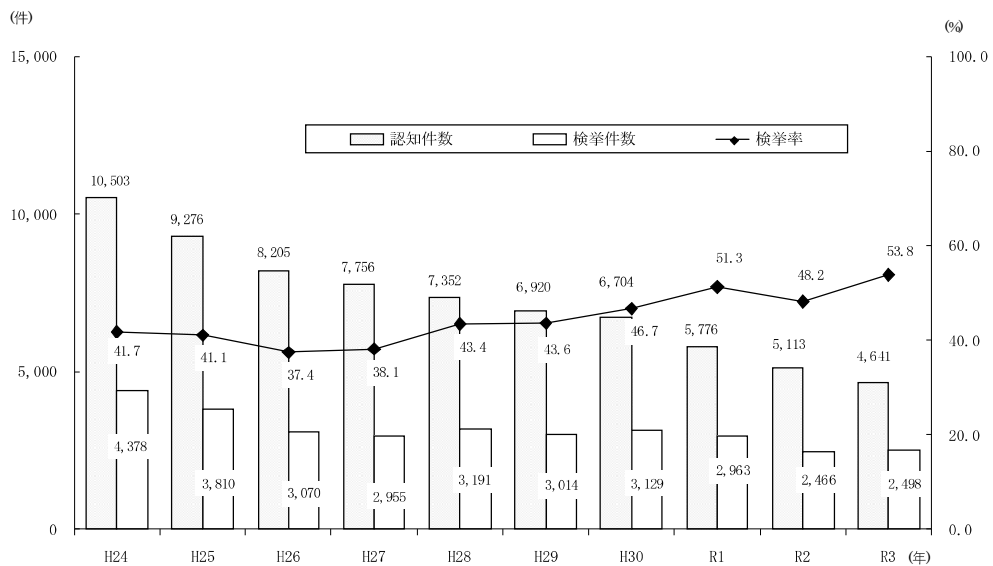


資料：危機管理防災局「災害の記録」

「災害被害額」には、雨害、台風被害、その他の災害（竜巻、霜等）に加え桜島降灰災害による被害額も含む。

(2) 治安の状況

令和3年の刑法犯認知件数は4,641件（前年比－472件）であり、12年連続で戦後最少を更新した。



資料：県警察本部資料

(3) 交通事故の状況（発生件数、負傷者数及び死者数の推移）

令和3年の交通事故は、発生件数3,532件、負傷者数3,970人、死者数47人で、昨年 compared to 去年に比べ発生件数、負傷者数、死者数ともに減少した。

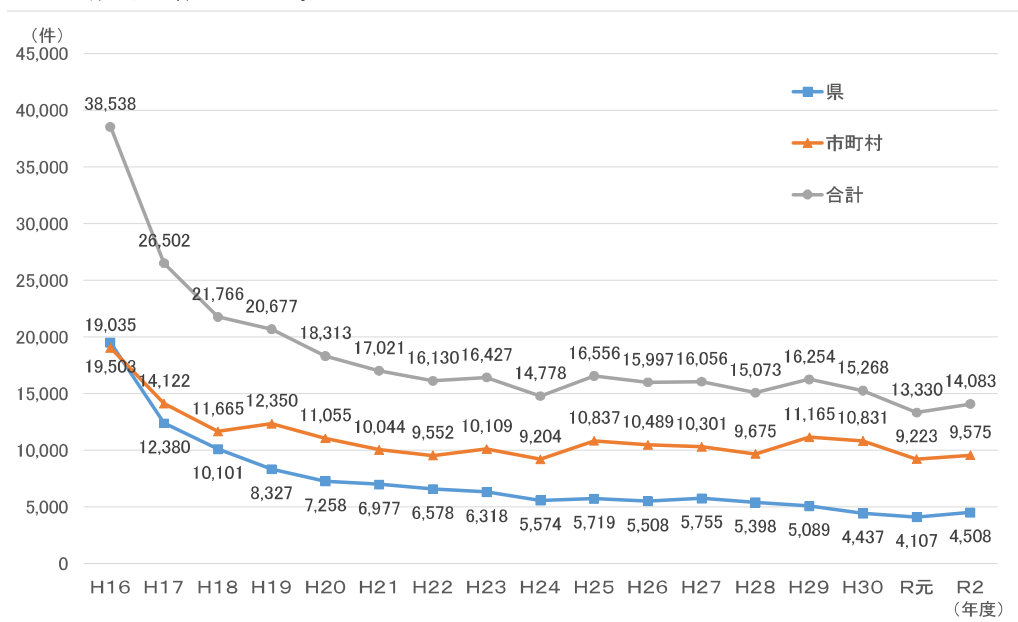


資料：県警察本部資料

(4) 消費生活相談の状況

県内における消費生活相談の総件数は、平成16年度がピークで、身に覚えのない支払い請求がハガキやメールで送りつけられてくるといった架空請求に関する相談の増加により38,000件を超えた。その後は、架空請求に関する相談の減少とともに総件数も減少に転じ、平成22年度以降は概ね横ばいとなっているが、その内容は多様化・複雑化している。

また、スマートフォン等の普及により、インターネットがより身近になり、自宅にいながら容易に買物やサービスが受けられるなど便利になった反面、思わぬ消費者トラブルに巻き込まれる機会が増えている。



資料：男女共同参画局資料

- (注) ① 県の件数は、県消費生活センターと大島消費生活相談所で受け付けた相談件数の合計
 ② 市町村の件数は、各市町村の消費生活センター、消費生活相談窓口で受け付けた相談件数の合計